

科目名	老年看護学臨地教育実習 I Gerontological Nursing Educational Practice I		担当教員 (研究室番号)	河村 敦子 (301)		教員への連絡方法 (メールアドレス)		河村 : atsuko.kawamura@mcn.ac.jp			
履修年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目	選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	3 (90)	授業 形態	実習	科目等 履修生	否
										遠隔授業	否
科目 目的	学部3年生の老年看護学実習において教育実習を行い、臨地実習の基本的な構成や指導内容を把握し、臨地での学生教育における基本的な教育能力や指導能力を修得する。										
ディプロ マ・ボリ ン (DP)	主要なDP	6. 看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。									
	関連する DP	4. 看護教育者あるいは看護実践者としての基礎的な教育能力を修得している。									
到達 目標	1. 同行する実習を履修する学生のレディネスを知ることができる。 2. 同行する実習のカリキュラム上の位置づけや、教育目的・教育目標・評価方法を知ることができる。 3. 同行する実習を実施する場の看護の特徴を把握することができる。 4. 実習環境とは何かを理解し、その具体的調整方法を知ることができる。 5. 学生の看護実践や実習記録等について教育的活動を実践することができる。 6. 実践した教育活動を振り返り、看護における自己の教育観を述べるができる。										
成績評価方法 (基準)	実習内容、臨地実習指導記録、臨地教育実習報告書、学生への対応等を総合的に評価する。										
教科書	必要時、紹介する。										
参考書等	必要時、紹介する。										
受講者への メッセージ	老年看護における看護過程の特徴を意識して実習に取り組んでください。										
備考											
学 習 内 容											
【実習期間】 原則として1週間を学内実習とし、2週間を臨地における教育実習とする。 同行する実習は、本学学部3年生が履修する「老年看護学実習」とする。 【学内実習】 学部生用の学生便覧およびシラバスから同行する実習についての理解を深める。また、学生からの質疑に応答できるよう、同行する実習施設の特徴をふまえ臨地指導実習に必要な準備を行う。 【臨地指導実習】 1週目：教員の学生への指導の実際を見ながら、臨地実習における教育のポイント（実習初日の学生への対応、受け持ち高齢者の決定、実習記録や口頭による学生の思考の確認、臨地実習指導者との調整等）を学習する。学部学生のカンファレンスでは状況に応じて学生にアドバイスをを行う。必要時、本科目担当教員に実習状況や学びを報告し、助言や指導をうける。 2週目：一部の学生の看護過程の展開について、必要なアドバイスをを行う。また、学生の看護実践に同行し必要な助言を行う。 【教育指導実践に関する記録類】 臨地教育実習での学びや教育的実践については臨地実習指導記録に記載する。また、実習が終了後に臨地教育実習報告書を提出する。											